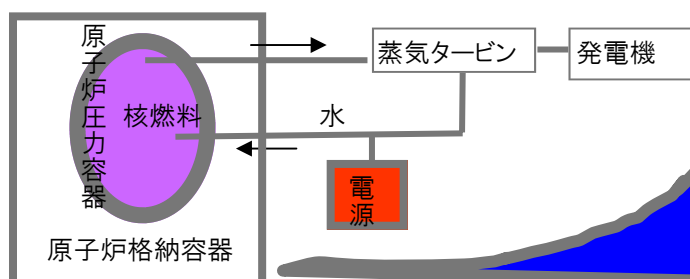


巨大自然災害・原発災害と法 —基礎法学の視点から—



2012年7月7日(土)

13:00—18:00

日本学術会議講堂

地下鉄千代田線乃木坂駅前



主催：

・基礎法学系学会連合
(日本法社会学会、日本法哲学
会、比較法学会、法制史学会、比
較家族史学会、民主主義科学者協
会法律部会)

・日本学術会議法学委員会

連絡先：

日本学術会議事務局・第1部担当 嶋津
03-3403-5706、s251@scj.go.jp

開会挨拶 小森田秋夫 (神奈川県大学法学部教授・日本学術会議会員)

第1部 報告

企画趣旨説明 岡田正則 (早稲田大学大学院法務研究科教授・日本学
術会議連携会員)

報告Ⅰ 小林傳司 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授・日本学術会
議連携会員)

「科学技術的思考と法的・社会的思考との相克」

報告Ⅱ 中山竜一 (大阪大学大学院法学研究科教授)

「科学的不確実性と法—巨大地震と原発事故から何を学ぶか—」

報告Ⅲ 福井 康太 (大阪大学大学院法学研究科教授)

「不安と不信感がもたらす無連帯と原発震災復興」

報告Ⅳ 中村民雄 (早稲田大学法学学術院教授)

「想定外の大災害時の初動救援—災害ボランティアと自治体の協働—」

報告Ⅴ 小柳春一郎 (獨協大学法学部教授)

「我妻榮博士の災害法制論—罹災都市借地借家臨時処理法と原子力損
害の賠償に関する法律—」

第2部 総合討論

司会 奥山恭子 (横浜国立大学国際社会科学部研究科教授)

浅野有紀 (学習院大学法科大学院教授)

開会挨拶 井上達夫 (東京大学大学院法学政治学研究科教授・日本学
術会議会員)